

防災備蓄食糧の寄贈先を拡大

～食品ロスの削減と社会福祉団体への支援を通じ、サステナビリティを推進～

三菱地所コミュニティ株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：大井田 篤彦）は、この度、当社で備蓄している防災用食料品等を公益社団法人日本非常食推進機構へ寄贈いたしました。

当社では、災害への備えとして非常用食料品等を備蓄するとともに、品質維持のため定期的な入れ替えを実施しております。また、2021 年より、賞味期限内で安全に食べられる食品を寄贈し、食品ロスの削減と社会福祉への貢献に取り組んでまいりました。

このたび、より多くの必要とする方々へ防災用食料品等を届けるため、寄贈先を拡大し、新たに、公益社団法人日本非常食推進機構への寄贈を実施いたしました。寄贈した食料品等は同機構を通じてフードバンクや子ども食堂などの社会福祉団体へ提供され、有効に活用される予定です。

当社は今後も、事業活動を通じて社会課題の解決に取り組み、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを推進してまいります。

【寄贈の概要】

- ・寄贈日：2026 年 7 月 2 日
- ・寄贈先：公益社団法人 日本非常食推進機構

【寄贈物詳細】

- ・レトルトごはん：3,700 食
- ・パン：2,484 食
- ・水（2L）：1,236 本
- ・マスク：3,500 箱（50 枚入り）



以上

＜本件に関するお問合せ先＞

三菱地所コミュニティ株式会社 経営企画部 メール：mjc-kouhou@mec-c.com